

2025年3月期 (2024年度) 決算ハイライト



埼玉りそな銀行

2025年5月13日

2025年3月期 決算及び業績目標の概要

■ 当期純利益：355億円 前期比+78億円(+28.4%)

● 3期連続増益、通期目標*1達成率 127.1%

■ コア業務純益*2：487億円 前期比+79億円(+19.4%)

● 業務粗利益：1,243億円 前期比+155億円(+14.2%)

健全性・収益性向上を目的とした有価証券ポートフォリオの入替を進めつつ
金利上昇に伴う資金利益の増加を主因に、3期連続増収

➢ 国内預貸金利益*3：前期比△32億円

貸出金平残：同 +1.0% (政府等向け貸出除き：同 +3.5%)

貸出金利回り：同 +7bps、預貸金利回り差：同 +1bps

貸出金利回り、預貸金利回り差は反転上昇

➢ フィー収益は、過去最高水準を維持

➢ 債券関係損益(先物込)：前期比+40億円

● 経費：△801億円 前期比△41億円(費用増加)

人財・システムへ積極投資を継続

■ 株式等関係損益(先物込)：122億円 前期比△19億円

ポートフォリオの健全性は向上、政策保有株式の売却も進展

■ 与信費用：△18億円 前期比+19億円(費用減少)、費消率：30.8%

経営改善支援の取組みが奏功

不良債権比率は低位推移：1.21%

自己資本比率は健全な水準を維持：15.55%

■ 2026年3月期業績目標

業務粗利益：1,435億円、当期純利益：385億円

当期純利益は、前期・中計最終年度目標を上回る水準

単体(億円)	2025/3期 (a)	前期比 (b)	増減率 (c)	2026/3期 目標 (d)
業務粗利益 (1)	1,243	+ 155	+ 14.2%	1,435
資金利益 (2)	945	+ 111		
うち国内預貸金利益*3 (3)	625	△ 32		
うち投資信託解約損益 (4)	△ 11	△ 12		
フィー収益 (5)	304	△ 0		
信託報酬 (6)	0	△ 0		
役務取引等利益 (7)	304	△ 0		
その他業務利益 (8)	△ 5	+ 43		
うち債券関係損益(先物込) (9)	△ 30	+ 40		
経費 (10)	△ 801	△ 41	△ 5.4%	△ 860
経費率 (11)	64.4%	△ 5.3%		
実質業務純益 (12)	442	+ 113	+ 34.6%	575
コア業務純益*2 (13)	487	+ 79	+ 19.4%	
コア収益*4 (14)	240	△ 41	△ 14.6%	
株式等関係損益(先物込) (15)	122	△ 19		50
与信費用 (16)	△ 18	+ 19		△ 55
その他の臨時・特別損益 (17)	△ 53	△ 13		
税引前当期純利益 (18)	493	+ 100	+ 25.5%	550
法人税等合計 (19)	△ 137	△ 21		
当期純利益 (20)	355	+ 78	+ 28.4%	385
連結*5(億円)				
親会社株主に帰属する 当期純利益 (21)	356	+ 78	+ 28.4%	385

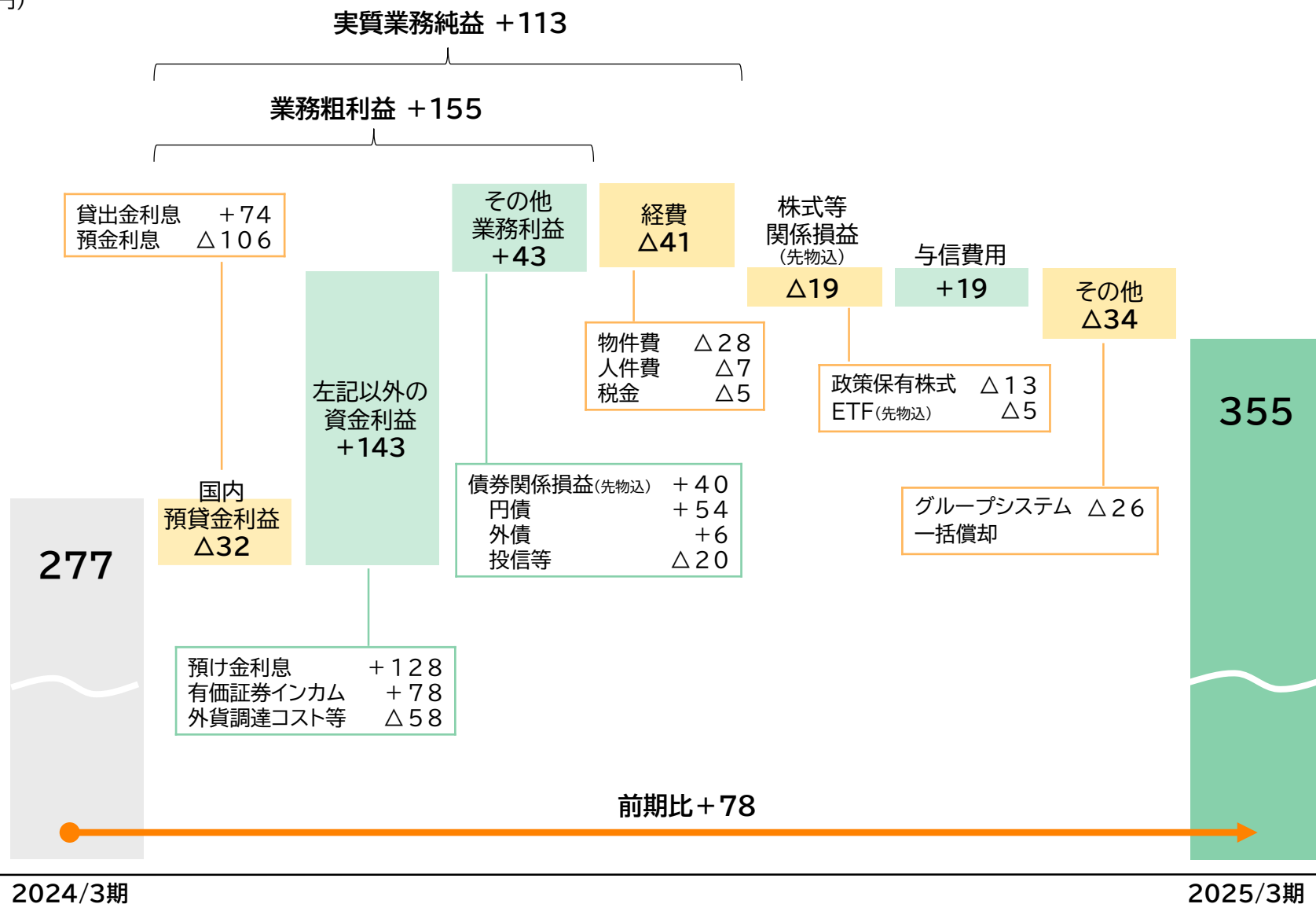
*1. 2024/11公表 上方修正後業績目標。なお、期初目標達成率136.9% *2. 投資信託解約損益を除くコア業務純益(実質業務純益-債券関係損益(現物))

*3. 国内預貸金利益：譲渡性預金を含む *4. 国内預貸金利益+円債利息等(円債利息・金利スワップ収益)+フィー収益+経費

*5. 連結対象子会社：(株)地域デザインラボさいたま

当期純利益の前期比増減要因

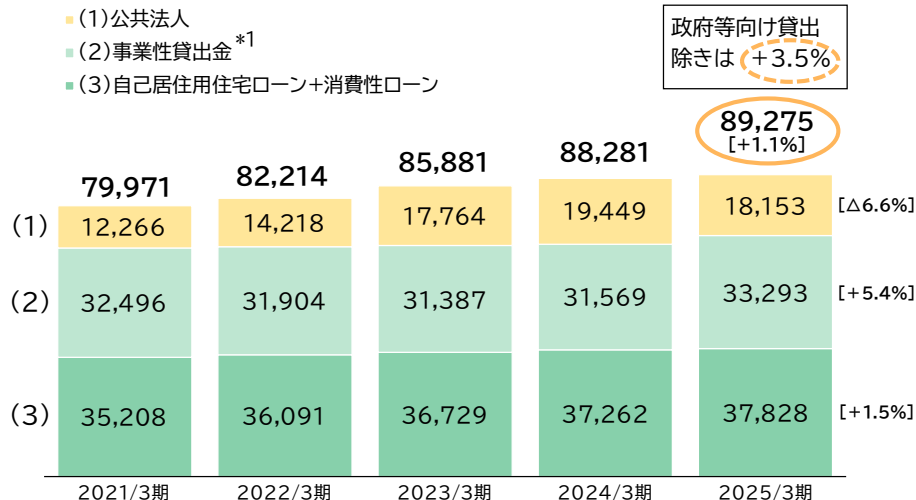
(億円)



預貸金残高・利回り

貸出金平残(全店)

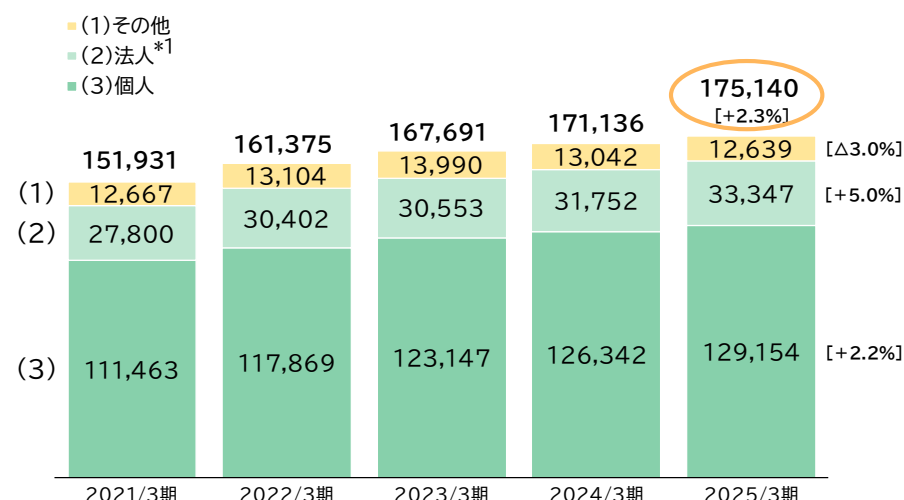
〔億円、[]内は前期比増減率〕



*1. 中堅・中小企業、個人事業主、アパートマンションローン等 *2 内訳は社内管理計数

預金平残(全店)

〔億円、[]内は前期比増減率〕



*1. 譲渡性預金を含む *2. 内訳は社内管理計数

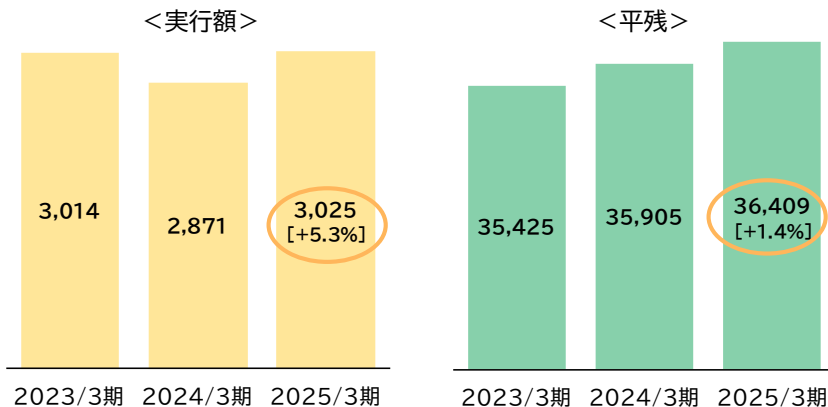
預貸金利回り(国内)

(%)		2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期
貸出金利回り	(1)	0.89	0.84	0.78	0.75	0.82
前期比	(2)	Δ 0.10	Δ 0.04	Δ 0.05	Δ 0.03	+ 0.07
預金利回り*1	(3)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.06
前期比	(4)	Δ 0.00	Δ 0.00	Δ 0.00	Δ 0.00	+ 0.06
預貸金利回り差	(5)	0.88	0.83	0.78	0.75	0.76
前期比	(6)	Δ 0.10	Δ 0.04	Δ 0.05	Δ 0.03	+ 0.01

*1. 譲渡性預金を含む

自己居住用住宅ローン実行額・平残

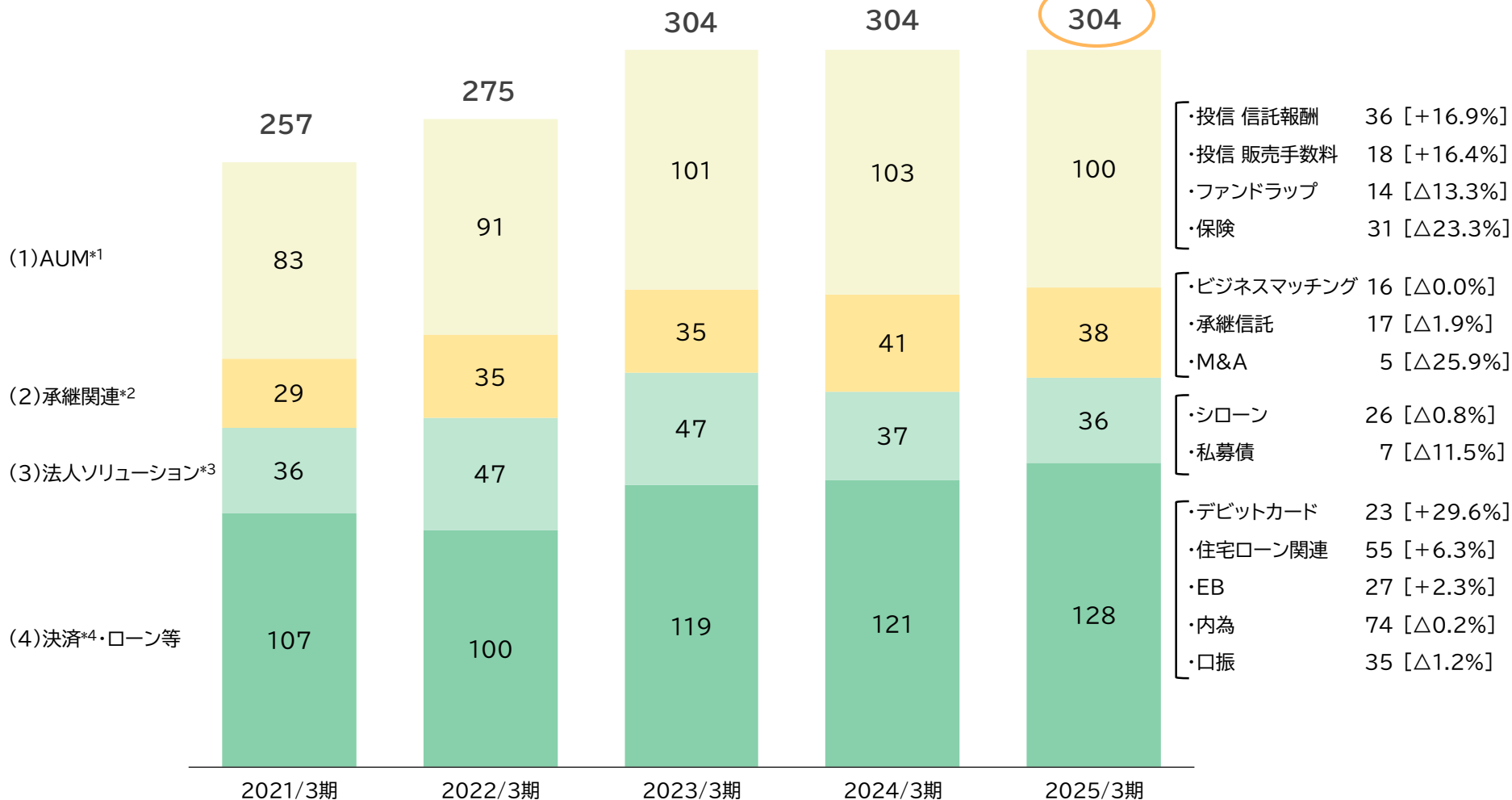
〔億円、[]内は前期比増減率〕



フィー収益

➤ フィー収益は過去最高水準を維持

〔億円、[]内は前期比増減率〕



*1. 投資信託(販売手数料・信託報酬)、ファンドラップ、保険の役務利益 *2. M&A、承継信託、ビジネスマッチング

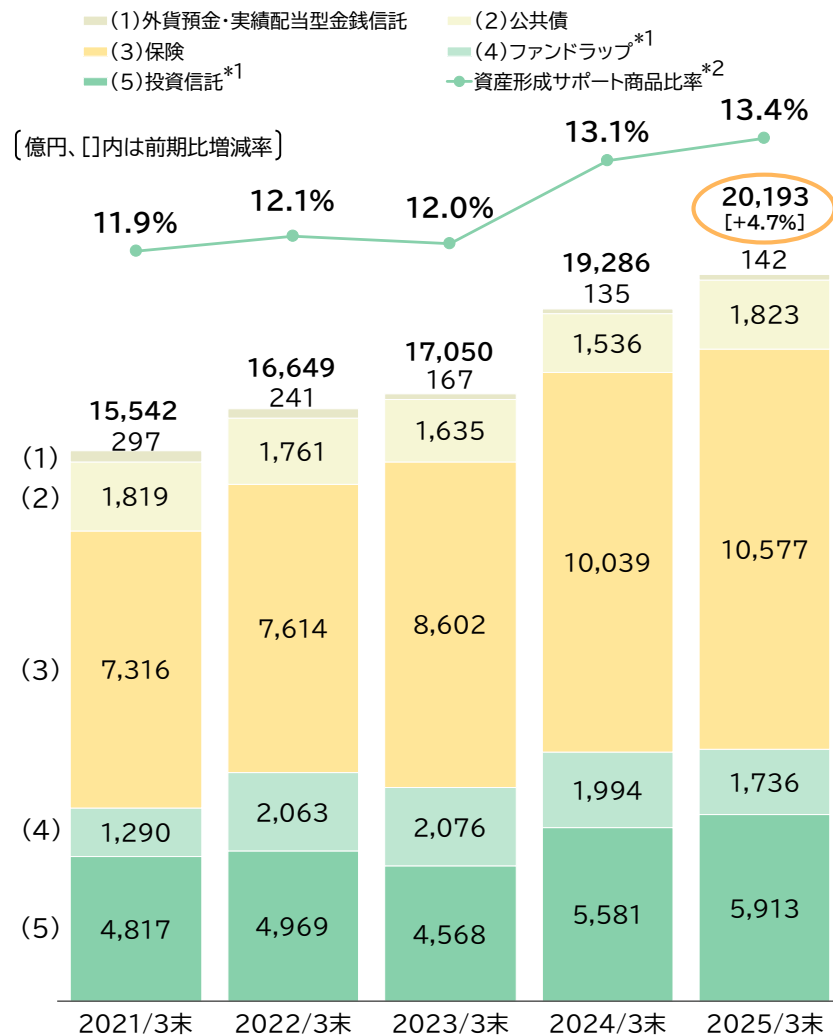
*3. 私募債、シローン、コミット、コベナンツ、一般貸出関連 *4. 内為、口振、EB、デビット、リそなキャッシュレス・プラットフォームの役務利益 *5. 内訳は社内管理計数



個人向け資産形成サポート

商品残高

- ▶ 保険・投資信託が伸長し、個人向け資産形成サポート商品残高は堅調に増加



*1. 時価ベース残高

*2. 個人向け資産形成サポート商品残高／(個人向け資産形成サポート商品残高＋個人預金(円貨))

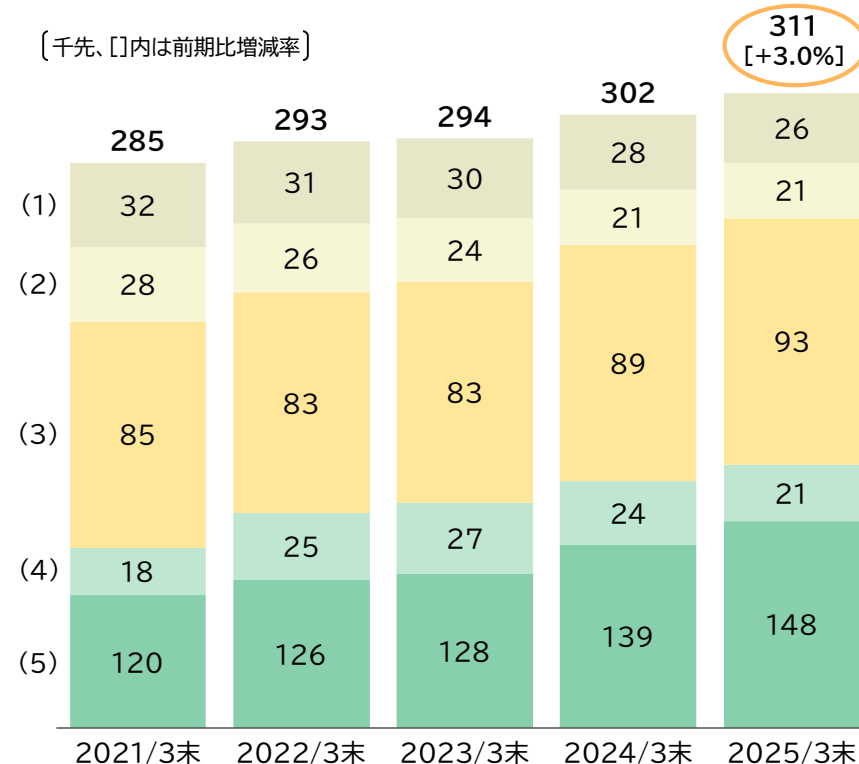
*3. 内訳は社内管理計数

商品利用先数

- ▶ 個人向け資産形成サポート商品利用先数は堅調に増加

■ (1)外貨預金 ■ (2)公共債 ■ (3)保険 ■ (4)ファンドラップ ■ (5)投資信託

〔千先、[]内は前期比増減率〕



■ NISA契約先数*1 : 118千先 (24/3末比 +10.2%)

■ 積立投資信託利用先数 : 78千先 (同 +17.3%)

■ iDeCo加入者数*2 : 33千先 (同 +9.8%)

■ 企業年金加入者数*3 : 63千先 (同 +6.3%)

*1. NISA、ジュニアNISA、積立NISA *2. iDeCo加入者＋運用指図者

*3. 確定給付企業年金加入者数(りそな銀行幹事分)＋企業型確定拠出年金加入者数

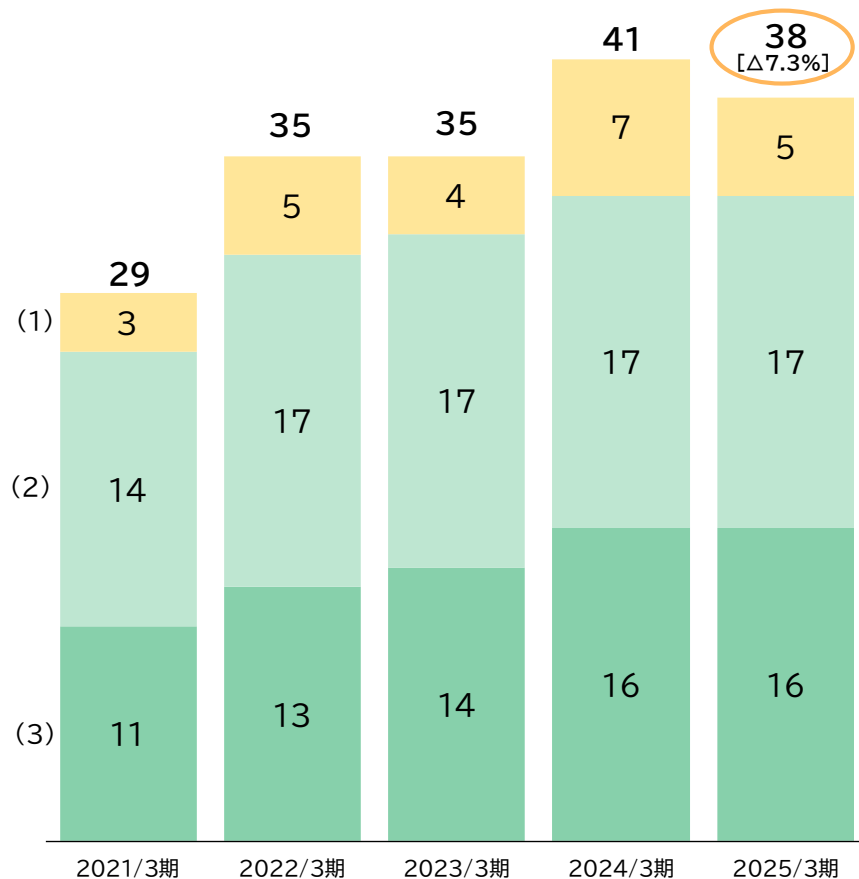
承継

承継関連収益

➤ M&Aが減少も、承継信託・BMは前期水準を維持

■ (1) M&A ■ (2) 承継信託^{*1} ■ (3) ビジネスマッチング

〔億円、[]内は前期比増減率〕



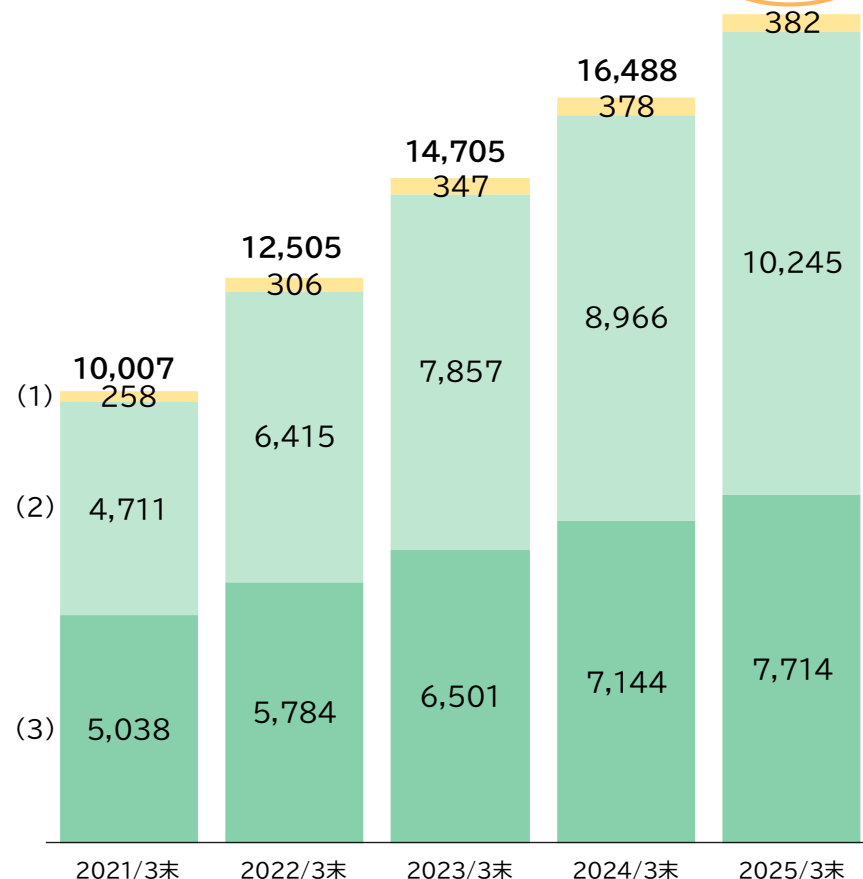
*1. 遺言信託、遺産整理、自社株承継信託、マイトラスト、ハートトラスト、合同金銭信託運用益
*2. 内訳は社内管理計数

資産承継ストック件数

➤ 承継ニーズの高まりを捉え、資産承継ストック件数は増加

■ (1) 自社株承継信託 ■ (2) 資産承継信託^{*1} ■ (3) 遺言信託

〔件、[]内は前期比増減率〕



*1. マイトラスト、ハートトラスト

与信費用、不良債権

与信費用

➤ 経営改善支援の取組みが奏功

(億円)	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期 計画
	(a)	(b)	(c)	(d)
与信費用 (1)	△21	△37	△18	△55
一般貸倒引当金 (2)	△10	△16	28	
個別貸倒引当金等 (3)	△11	△21	△47	
新規発生 (4)	△53	△48	△42	
回収・上方遷移等 (5)	42	26	△4	
				(bps)
与信費用比率*2 (6)	△ 2.4	△ 4.1	△ 2.0	△ 6.1

*1. 正の値は戻入を表す

*2. 与信費用／金融再生法基準与信残高(期首・期末平均)

経営改善支援

➤ 2020年8月、本部内に営業店支援グループ新設 経営改善支援の取組みは着実に進捗

(先)	2023/3末	2024/3末	2025/3末	2024/3末比
	(a)	(b)	(c)	(d)
延べ経営改善数※1 (1)	315	430	542	+112

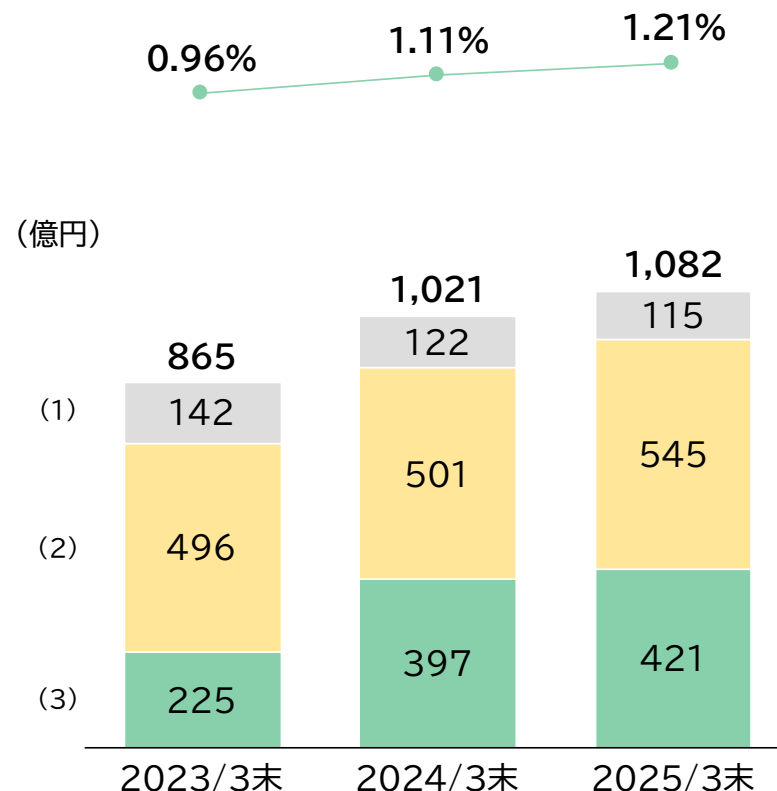
*1. ランクアップ等

不良債権残高・比率の推移

➤ 地域への更なるリスクテイクに取組みつつ、不良債権比率は低位推移

(金融再生法基準)

- (1)破産更生債権及びこれらに準ずる債権
- (2)危険債権
- (3)要管理債権
- 不良債権比率



有価証券、自己資本比率

有価証券

➤ 環境変化に備えたポートフォリオ再構築は進展し、健全性は向上

(億円)	2023/3末 (a)	2024/3末 (b)	2025/3末 (c)	評価差額 (d)
その他有価証券*1 (1)	8,978	9,469	14,557	336
株式 (2)	494	451	348	766
債券*2 (3)	6,672	6,154	10,734	△ 361
国債 (4)	1,960	1,513	6,541	△ 212
(デュレーション) (5)	13.7年	9.0年	5.7年	-
(BPV) (6)	△ 2.5	△ 0.9	△ 3.3	-
地方債・社債 (7)	4,712	4,640	4,193	△ 148
その他 (8)	1,811	2,864	3,474	△ 68
外国債券 (9)	707	1,992	2,373	△ 35
(デュレーション) (10)	6.1年	5.5年	5.2年	-
(BPV) (11)	△ 0.2	△ 0.8	△ 0.8	-
国内投信等 (12)	1,103	871	1,100	△ 33
(評価差額) (13)	741	880	336	
満期保有債券 (14)	12,915	16,430	17,335	

*1. 取得原価、市場価格のない株式等及び組合出資金を除く

*2. ヘッジ考慮後の計数

自己資本比率(国内基準)

➤ 自己資本比率は健全な水準を維持

(億円)	2024/3末 (a)	2025/3末 (b)	2024/3末比 (c)
自己資本比率*1 (1)	16.55%	15.55%	△1.00%
自己資本の額 (2)	3,684	3,761	+76
コア資本に係る基礎項目の額 (3)	3,888	3,993	+104
コア資本に係る調整項目の額 (4)	△204	△231	△27
リスク・アセット (5)	22,262	24,177	+1,914
信用リスク (6)	20,578	21,545	+966
マーケット・リスク (7)	320	377	+56
オペレーショナル・リスク (8)	1,363	1,431	+68
フロア調整額 (9)	-	823	+823

*1. 単体・経過措置

*2. 連結自己資本比率(経過措置):15.56%、同(完全実施):11.29%

サステナビリティ

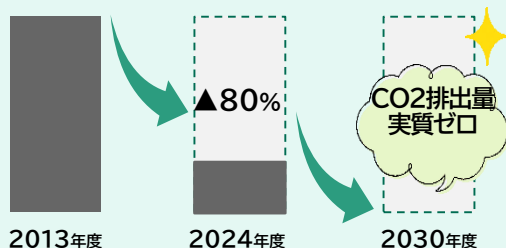
持続可能な社会の実現に向けた取り組みを加速

環境



カーボンニュートラル

- ◆太陽光発電設備やEV車導入等を通じ、計画を上回る進捗



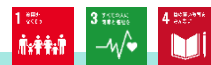
- ◆21拠点で地域新電力への切替え実施。再生可能エネルギーの地産地消は進展

ネイチャーポジティブ

- ◆鉄道各社と連携し、「第75回全国植樹祭」をPR。植樹祭当日イベントにて苗木500本を配布予定
- ◆「埼玉りそなの森」に苗木100本を追加植樹予定(2025年秋頃)



地域共助



子ども支援

- ◆「りそな YOUTH BASE」は、せんげん台に続き、浦和、川越に新規開設
- ◆フードドライブは91拠点・累計3.7万点に拡大。本・文房具・服・ランドセル寄贈継続に加え、寄贈用常設BOX設置開始



金融教育

- ◆金融犯罪被害防止や資産形成等、幅広い世代に出前授業を実施(累計3.8万人)
- ◆J-FLEC*1の認定アドバイザーを招いた研修を、教職員、お客さま従業員にも対象を拡大して実施

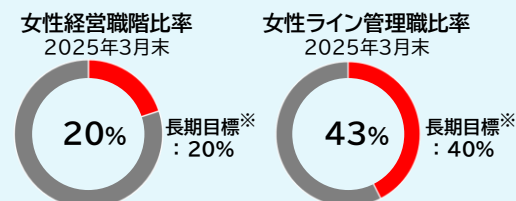


ダイバーシティ&インクルージョン



多様な人財の活躍

- ◆女性の活躍は更に進展



※サステナビリティ長期目標、2030年度に目指す水準

- ◆キャリア・アルムナイ採用者の活躍も進展

越境

- ◆共創、人的ネットワーク構築を目的とした「未来プラスプロジェクト」始動



- ◆自律的なキャリア形成促進のため、美術大学への派遣や地域フィールドワーク等、越境領域を拡大

ラボたま



いっしょに成長
ラボたま
地域デザインラボさいたま

- ・ 設立3年半を経過し、新領域への挑戦を重ね、累計495件の案件にアプローチ、**74件の実績**
- ・ 2024年5月、りそな コエドテラスでの挑戦を開始

HP



Instagram



LABTAMA.OFFICIAL

日々の活動を配信中♪

ラボたまの実績 74件の内訳と事例

新領域

文化財利活用

りそな コエドテラス
5/15で1周年！次頁を
ご覧
ください！新領域
観光
関連
計2件まち
づくり
計16件公共
施設
マシメント
計11件河川
利活用
計8件ふる
さと納税
計5件その他
計10件産業創出
支援
計10件「食」のビジネスアイデアコンテスト開催
パートナー企業等と伴走支援を実施中新領域
地域
DX
計2件

皆野町に人財を派遣、地域DXを後押し

空き家
対策
計9件官民連携で新たな
空き家抑制モデル事業
を展開延べ16千件の「空き家予
備軍」にアプローチ外部事業者と連携し、
空き家の時間貸し
モデルを構築中

りそな コエドテラス

2024年5月開業以来、“埼玉県の産業・観光・暮らしの好循環を創出し、地域の未来をプラスにする唯一無二の共創拠点”を目指し、産業創出や埼玉県のブランディング、賑わい創出に挑戦しています

来館者数
約20万人

ナイトタイム
利用者
約1万名

イベント
開催件数
87件

メディア
掲載件数
93件

★川越市内
創業支援機関
との事業連携
協定締結★

地域課題であるナイトタイム
エコノミーに貢献

週2回程度、産業創出や賑わい創出
に向けたイベントを開催

主な取組み内容



01

産業創出事業 (1F/3F)

- 起業家育成に繋がるイベント、
- テストマーケティング、共創イベント、
- アントレプレナー教育等多数実施



02

ブランディング事業 (1F/2F)

- カフェテリア、レストラン、バー、物販等
- 埼玉や川越の魅力、農と食、文化芸術、
- 地域活動等のブランド発信・PR実施



03

賑わい創出事業 (屋外スペース・2F)

- 屋外イベントスペースやテラス等を
- 活用し、観光客や地域住民など幅広い
- 方が集い、楽しめる拠点づくりを実施



中期経営計画の進捗

『価値の良い流れを創り出す』共創社会のハブへと進化する3年間

安心で豊かな社会の実現

事業・暮らしの安心
金融リテラシー向上
安心・安全な金融インフラ



金融教育受講者数
15千人
積立投信利用先数
67千人

金融教育受講者数
38千人(+151%)
積立投信利用先数
78千人(+17%)

持続的な成長への貢献

挑戦への伴走
変化への対応
次世代への発展的承継



決済関連収益^{*3}
178億円
資産承継ストック件数^{*4}
16千件

決済関連収益^{*3}
187億円(+5%)
資産承継ストック件数^{*4}
18千件(+11%)

魅力ある埼玉の創造

地域課題の解決
人・企業の流入
誰もが輝く社会



地域課題解決件数
88件
RTF実行額^{*5}
5,615億円

地域課題解決件数
146件(+66%)
RTF実行額^{*5}
9,078億円(+61%)

- ・くらしコンシェルジュの相談受付件数は1万件突破
家計の見直しや相続・介護など様々なこまりごとに対応
- ・1,200名を超える価格転嫁サポーターの取組みは
人手不足対策まで拡大、提案件数は1万件突破
- ・専門団体と包括連携協定を締結^{*6}、取引先の経営改善を後押し
- ・埼玉県警と共同でモニタリングスキーム構築、詐欺被害拡大防止を主導。他県での導入にも貢献(4県導入済)
- ・ATMカードを活用し、特殊詐欺の注意喚起(全国初)

- ・渋沢MIX開設に合わせて設立された創業・承継支援ファンドへ最大出資(4割超)
- ・国際協力銀行との業務協力協定締結。海外プロジェクト向けの融資支援体制拡充
- ・600社以上に経営改善支援ソリューションを提供。
経営支援リーダーを中心とした取組み加速
- ・(株)デジタルガレージと共同開発した決済サービス「CurePort」の取扱開始。医療機関での会計手続の効率化に貢献
- ・グループアプリforビジネスの利用先数は3.7千先へ拡大[前期比+153%]

- ・「りそな サクラ BASE」を開設^{*7}。店舗スペースを活用した地域との価値共創の取組み進展
- ・空き家対策エコシステムを構築。相談受付件数は64物件、うち8物件で成果
- ・無通帳口座の普及を通じた地元埼玉への寄贈を開始。ペーパーレスと子ども支援に貢献
- ・お客さまのカーボンニュートラル実現に向け、約13千社に対しCO2排出量簡易算出サービスを提供
- ・地域特化型サイト「咲いたま、みつけ！」にてご当地産品応援サイトを公開、特産品をPR

*1. 計数は2024/3末時点と2025/3末時点の比較であり、社内管理計数を使用。()内は2024/3末比増減率 *2. 決済関連収益を除き、累積値を記載
*3. 内為、外為、EB、口座振替、デビット、りそなキャッシュレス・プラットフォーム *4. 自社株承継信託、資産承継信託(マイトラスト、ハートトラスト)、遺言信託
*5. リテール・トランジション・ファイナンス *6. 2024/7 埼玉県中小企業診断協会、2025/3 日本公認会計士協会埼玉県 *7. 2025/5/15開設

(ご参考)貸出金・預金未残の推移

(億円、%)		2023/3末	2023/9末	2024/3末	2024/9末	2025/3末	2024/9末比	2024/3末比	増減率
		(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)	(g)	(h)
貸出金	(1)	88,113	88,251	89,788	91,217	87,519	△3,697	△2,268	△2.5%
(政府等向け貸出除き)	(2)	(76,563)	(77,322)	(79,162)	(80,048)	(81,303)	(+1,254)	(+2,141)	(+2.7%)
中小企業等向け貸出金	(3)	64,397	64,862	65,582	66,155	67,181	+1,025	+1,598	+2.4%
同比率	(4)	73.0%	73.4%	73.0%	72.5%	76.7%	+4.2%	+3.7%	
消費者ローン	(5)	45,250	45,405	45,665	45,882	46,337	+454	+671	+1.4%
自己居住用住宅ローン	(6)	35,716	35,936	36,206	36,400	36,828	+427	+622	+1.7%
アパートマンションローン	(7)	8,201	8,106	8,074	8,059	8,056	△2	△17	△0.2%
消費性ローン	(8)	1,332	1,362	1,385	1,422	1,451	+29	+66	+4.7%
中小企業*1	(9)	19,146	19,456	19,916	20,272	20,843	+571	+926	+4.6%
埼玉県内貸出金	(10)	74,766	75,406	76,870	77,564	78,608	+1,043	+1,738	+2.2%
埼玉県内シェア*2	(11)	43.2%	43.3%	43.6%	43.9%	44.0%	+0.0%	+0.4%	
預金*3	(12)	169,909	170,502	174,189	174,174	177,835	+3,660	+3,645	+2.0%
流動性預金*4	(13)	133,973	134,889	138,931	137,475	141,451	+3,976	+2,519	+1.8%
定期・譲渡性預金等	(14)	35,935	35,613	35,257	36,699	36,383	△315	+1,126	+3.1%
国内個人預金	(15)	124,608	126,290	127,813	128,855	129,900	+1,044	+2,087	+1.6%
同比率	(16)	73.3%	74.0%	73.3%	73.9%	73.0%	△0.9%	△0.3%	
国内法人預金	(17)	31,599	33,085	34,146	34,150	34,976	+826	+829	+2.4%
埼玉県内預金*3	(18)	168,285	169,238	172,949	172,321	176,117	+3,796	+3,167	+1.8%
埼玉県内シェア*2	(19)	45.9%	45.8%	46.1%	46.0%	46.6%	+0.6%	+0.4%	

*1. 中小企業等向け貸出金-消費者ローン *2. 国内銀行勘定ベース *3. 譲渡性預金を含む *4. 流動性預金=当座預金+普通預金+貯蓄預金+通知預金

本資料中の、将来に関する記述(将来情報)は、次のような要因により重要な変動を受ける可能性があります。

具体的には、本邦における株価水準の変動、政府の方針、法令、実務慣行及び解釈に係る展開及び変更、新たな企業倒産の発生、日本および海外の経済環境の変動、並びにりそなグループのコントロールの及ばない要因などです。

本資料に記載された将来情報は、将来の業績その他の動向について保証するものではなく、また実際の結果と比べて違いが生じる可能性があることにご留意下さい。